

## 特別賞(全国地産地消推進協議会会長賞)

### 都賀町学校給食地産地消推進会議

～地域の力を活かした地産地消学校給食と食育推進～

代表者： 齊藤 順  
所在地： 栃木県

構成員： 都賀町経済課、都賀町教育委員会、都賀町学校給食センター、JAしもつけ、都賀町青果商組合、生産者  
活動開始年月日： 平成16年4月

#### 表彰理由

町が中心となり、教育委員会、学校給食センター、JA、青果商、生産者が一体となって地場農産物を学校給食に安定的に供給する体制を整備、JAと青果商組合が緊密な連携をとり、地場産を確保できない場合の対応も整え、安定して供給できる体制を構築した取組。

地場農産物の利用量は年々増加しているほか、学校給食を食育に生かす活動にも力を入れており、生徒の収穫体験、交流給食のほか、地場農産物を活用した給食づくりに参加させることにより、総合的な学習や家庭科にも活用。地域農業への理解が進むほか、残食率が減少するなど、食育としての成果も見られている優れた取組。

#### 取組内容

##### 1 地場農産物を学校給食に活用する体制づくり

- 地産地消の拡大や生産者との交流を通して郷土愛や感謝の気持ちを育てることを目的に、町が主体となって平成16年から町、町教育委員会、生産者、青果商組合、JA等からなる体制を構築。
- 地場農産物を供給する生産者やJAと、納品できない部分を供給する青果商組合が協力し合って納品する体制を構築し安定的に供給。
- 生産者、学校給食関係者間の相互理解を進めることで、地場農産物の供給量及び品目が年々増加(平成16年度1品目でスタートし、平成18年度には12品目にまで拡大)。

##### 2 学校給食を通じた食育の推進

- 食に関する指導全体計画を策定し、町内農産物の計画的生産と地産地消献立への活用。
- 生産者の協力を得て収穫体験を行うほか、ワンポイントメモを添えた献立写真や、生産者の顔写真入りの献立表の配布、生産者との交流給食などを実施。生産者や地域農産物を活用した親子料理教室、保護者を対象とした学校給食試食会と講習会を実施。
- 毎月19日を食育の日とし、町内産農産物を3品目以上活用した給食の提供。
- 中学2年生が総合的な学習の時間でマイチャレンジとして、栄養士志望の生徒がバイキング給食を作り、中学1年生が家庭科の授業で栄養等を学習した上で、バイキング給食において他の生徒に栄養指導を行うなど、食に関する指導を実践。